



第 6 回学位記授与式

第 6 回学位記授与式を開催、大学院生 41 名が修了 多くの日本・ベトナムの政府・大学・企業関係者が祝福

2023年7月29日（土）、日越大学の修士課程学位記授与式がハノイ国家大学内のグエン・ヴァン・ダオホールにて開催され、8プログラム41名の学生に対し学位記が授与されました。当日は、来賓として武部勤氏（日越友好議員連盟特別顧問、日越大学理事）、山田滝雄氏（駐ベトナム日本国特命全権大使、日越大学理事）、三浦彰太氏（CFO, UNIQLO Vietnam CO., LTD）をはじめ日本・ベトナムの大学・企業・政府等多くの関係者の方に会場またはオンラインにてご参加いただきました。

式典では、古田学長から修了生に対し、「日越大学は日越両国の良好な協力関係の象徴であり、皆さんもこの象徴の一員です。日越外交関係樹立 50周年を迎え、両国はこれから真の「対等なパートナーシップ」を築く必要があります。皆さんにはその担い手となることを大いに期待します。」と激励しました。また、UNIQLO Vietnam CO., LTD CFO 三浦彰太氏からは、「修了生の皆さんは建学の精神に基づきベトナムや日本、また世界で活躍することが期待されています。好奇心、専門性、誠実さを持ち、日本とベトナムの強い絆を象徴する人材として、世界を舞台に活躍されることを願います。」と祝辞を頂きました。また、修了生を代表し Van Thanh Thao さん（企業管理プログラム）は、「日越大学に入学した当初は、私は不安でいっぱいでしたが、先生方や様々な職種や業界で働いてきたクラスメイトたちと出会い、日越大学で過ごした2年間は実務経験以上の価値のあるものになりました。」とスピーチしました。

日越大学の大学院修了生は、ベトナムや日本を始め、世界各地で活躍しており、卒業後の活躍の場がますます広がっています。今後も日越大学の修了生は日越両国の代表として世界各地の産業界や学术界で活躍することが大いに期待されます。

今月号の内容

第 6 回学位記授与式を開催、
大学院生 41 名が修了
多くの日本・ベトナムの政
府・大学・企業関係者が祝福

学部日本学プログラム学生が
日経 STEAM2023 シンポジウム
「学生サミット 未来の地球会
議」でグローバル賞受賞。2年
連続 2 度目

「ASEAN の大学発展に海外留学
がどう貢献してきたのか？」
JICA 緒方貞子平和開発研究所
が研究成果を発表

2023年、新たに「食品工学と
健康」「メカトロニクスと日
本型ものづくり」プログラム
が開設

連携を深める一歩：法政大学
職員が日越大学でインターン
シッププログラムに参加

経験を伝え未来を設計：エジ
プト日本科学技術大学の歩み
と日越大学への教訓

2023年入学出願（修士課程）
スケジュール

VJU JAPAN FESTIVAL
スポンサー募集

学部日本学プログラム学生が日経 STEAM2023 シンポジウム「学生サミット 未来の地球会議」でグローバル賞受賞。2年連続2度目

2023年7月19日「学生サミット 未来の地球会議」が日本経済新聞社大阪本社主催で開催され、日本、インドネシア、カンボジア、マレーシア、ベトナム、ラオスから多くの高校生・大学生チームが参加し、未来の地球を守る方法を提案しました。日越大学からは学部日本学プログラムの学生5名が đoàn kết (団結) のチーム名で参加し、パンデミックを止めるための主に貧困層の衛生に関する知識向上に向けた無料ゲームの開発を提案しました。ゲームの開発資金をCSRに取り組む企業や地元のNGOから募るなど、クリエイティブで実現性の高いアイデアが評価され、日越大学チームは昨年度に続き2年連続2度目の受賞となりました。これからも幅広い視野と柔軟な対応力をもった人材を育成し、持続可能な開発目標に貢献していきます。

グローバル賞を受賞した学生へのインタビューはこちら (言語: ベトナム語、英語字幕あり)

<https://www.facebook.com/vnu.vju/videos/315537457508670/>



古田学長と受賞した学生チーム



日越大学チームのプレゼンテーション

「ASEAN の大学発展に海外留学がどう貢献してきたのか？」 JICA 緒方貞子平和開発研究所が研究成果を発表

2023年8月8日、国際協力機構 (JICA) と日越大学の共催の国際セミナーで、萱島信子氏 (JICA 緒方貞子平和開発研究シニア・リサーチ・アドバイザー)、黒田一雄氏 (早稲田大学大学院教授) 他は、大学教員の留学が ASEAN の高等教育の発展に及ぼしたインパクトに関する研究成果を発表しました。本研究発表は、2019年から2022年にかけて行われた ASEAN4 か国 (インドネシア、カンボジア、マレーシア、ベトナム) のトップレベルの10大学の教員を対象としたアンケート調査やインタビューの調査の結果に基づくものです。ベトナムではベトナム国家大学ハノイ校 (VNU) とハノイ工科大学 (HUST) が調査の対象となりました。発表では、いずれの国においても、教員の海外留学が、帰国後の活動 (教育・研究・社会貢献・大学運営) にポジティブなインパクトを及ぼしていることが報告されました。萱島氏は「留学の意義は、高等教育の発展に伴い『先進国からの知識や技術移転』から『国際的な学術ネットワーク形成の入口』へと変化している。ASEAN 域内での学術交流・人的交流が増加しており、送出国・受入れ国の両面を有するベトナムの役割が一層重要になると思われる」と指摘しました。



パネリスト



セミナー参加者



Focus

2023年、新たに「食品工学と健康」「メカトロニクスと日本型ものづくり」プログラムが開設

日越大学では、新たに「食品工学と健康」「メカトロニクスと日本型ものづくり」プログラムの開設が正式決定しました。今月号では「食品工学と健康プログラム」を特集致します。

●食品工学と健康プログラム

Engineer's Program in Food Technology and Health (EFTH)

EFTH では食品工学の関連領域と健康に関する総合的な知識と問題解決能力を習得するための教育プログラムを導入しています。学生は、食品製造ラインの構築と運営、国内/国際的な基準や規制を遵守しながら食品の保存と流通システムの効率を確保する方法、安全な食品の生産と管理等に関する日本の先進技術を学ぶことができます。日本の大学や企業との連携により食品分野の人材需要に対応するための質の高い人材を育成することが期待されています。EFTH は東京大学大学院農学生命科学研究科の支援を得ており、ベトナム人講師だけでなく、日本人講師の講義も受講できます。

カリキュラム全体像と特徴



学びの領域

- 食品加工と保存 (Food Processing and Preservation)
- 食品安全と健康 (Food Safety and Health)

学位

Engineer in Food Technology and Health

修業年限: 4.5年

【プログラムの特徴】

- 食品工学の関連領域と健康に関する総合的な知識を身に付けることができるプログラム。
- 食品分野の人材需要に対応できる質の高い人材育成に期待。



Real Voice

連携を深める一步: 法政大学職員が日越大学でインターンシッププログラムに参加

日越大学では職員インターンシップを受け入れており、2023年8月1日～15日まで法政大学職員、矢野浩平さんが日越大学でインターンシップを行いました。矢野さんから日越大学でのインターンシッププログラムに参加した動機、法政大学との業務の相違点、今後に向けたアドバイスについてお聞きしました。

日越大学でのインターンシッププログラム参加を決めた動機を教えてください。

第一に、海外の高等教育事情や大学職員の業務を知る機会を通して、日常業務からは得られない知見と刺激を得たいと考えたからです。また、国際的に求められる大学像について知りたかったことも大きな理由です。研修の中で、ベトナムの優秀な学生が留学先を選ぶ際、日本の大学は優先度が低い事実を知り、衝撃と焦りを感じました。日本の大学が世界各国の学生に選ばれる大学になるためには、国際関係の部署に限らず、事務組織全体がグローバルに対応したサービスを提供できるようになる必要があると感じました。



矢野浩平さん

インターンシップを通じて、法政大学と違いを感じた点はありますか？

日越大学の事務職員が、少人数で本当に多くの業務をこなしている点に驚きました。また、総合職として働く日本とは異なり、特定の部署で専門職に近い働き方をする日越大学の職員の方々を見て、大学職員としての働き方の違いを意識しました。加えて、専任職員が全

員修士以上の学位を有しており、学ぶことに貪欲である点も刺激になりました。職員の方々との交流の中で、国や大学規模が異なるにも関わらず、教学関係の業務には意外にも共通点が多く、業務上の悩みや課題を共有することができた点は成果の1つだと思います。

最後に、今後の日越大学でのインターンシッププログラムに一言アドバイスををお願いします。

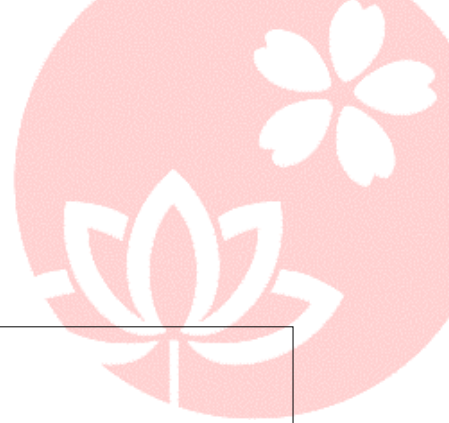
日越大学は、海外の大学の中でも日本の大学との親和性が高く、日本の大学職員が研修を行うには、最適だと思います。職員同士の交流は、大学経営の観点で言えば、教員同士の交流以上に効果があるのではないのでしょうか。現在の研修内容は期間も短く、お互いの業務を知る程度に留まっています。今後は、期間をより長期に設定し、大学広報や学生支援等、具体的な業務を経験するレベルにまで内容を充実できれば、より高い効果が期待できると思います。また、職員を派遣するだけでなく、日本の大学で日越大学の職員の受け入れることで、相互の大学事務組織の成長につながると思います。職員交流の先の形として、例えば、海外入試広報においてお互いがハブになる等、業務上の協力関係が構築できれば理想だと思っています。

経験を伝え未来を設計：エジプト日本科学技術大学の歩みと日越大学への教訓

2023年8月4日、エジプト日本科学技術大学（E-JUST）から松下慶寿先生（元 JICA 専門家）をお招きして、日越大学の教職員向けに「Equipment installation, campus and lab construction, and experimental education program development at E-JUST」と題した講演をしていただきました。松下先生はエジプトでの12年9か月に及ぶ JICA 専門家としての活動を振り返り、キャンパス建設や機材導入、実習教育の導入の経験を紹介し、その中で大学全体の利益を考慮した機材の選定や、その適切な運用・メンテナンス、安全対策の重要性を強調しました。



松下慶寿先生による講演



2023 年入学出願（修士課程）スケジュール

出願締切、面接試験は以下の日程となります。

大学院（第3回）

出願締切 8月30日
面接試験 9月10日

入試情報の詳細は日越大学ホームページ（英語）をご参照下さい。
<http://admission.vju.ac.vn/en/homepage/>

日越大学では高校訪問、出張授業、メディアへの出演など、様々な広報活動を実施しています。今月号では留学生を対象としたオンライン入試説明会についてご紹介致します。

■留学生向け、オンライン大学院入試説明会を開催

7月26日、留学生を対象とした大学説明会をオンラインにて実施しました。説明会では、修士課程プログラムの内容や、奨学金、入試制度等についての説明を行い、カンボジア、ミャンマー、ラオス、日本等から約35名の方にご参加いただきました。

VJU JAPAN FESTIVAL スポンサー募集

日越大学では2023年9月30日（土）にVJU JAPAN FESTIVALを開催致します。本イベントでは日越外交関係樹立50周年を記念したスペシャルトークショー、日本語プレゼンテーションコンテスト、漢字クイズ大会など日越大学ならではの特別企画が目白押しです。日越大学では本イベントに協賛頂ける企業、個人を募集しています。本イベントにご興味のある方は以下の宛先までご連絡下さい。

VJU JAPAN FESTIVAL 連絡先：event@vju.ac.vn

VJU JAPAN FESTIVAL 専用 Face Book サイト：<https://www.facebook.com/VJUJapanFestival/>

人事往来

【着任（2023年8月）】

・根岸 正実：産学連携

■日越大学の情報発信

日越大学ホームページ

<https://vju.ac.vn/en>

日越大学 Facebook

（ベトナム語）<https://www.facebook.com/vnu.vju/>

（日本語）<https://www.facebook.com/VJUJp/>

JICA プロジェクトページ

<https://www.jica.go.jp/project/vietnam/057/index.html>

■お問い合わせ

E-mail: mail.magazine@vju.ac.vn

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト メルマガ編集部（担当：川口）

【メール配信停止・変更】

配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、上記問い合わせ先までメールにてご連絡ください。

JICA 日越大学教育・研究・運営能力向上プロジェクト